

東根市週休2日確保工事実施要領の一部を改正する告示新旧対照表

改正後	改正前
<p style="text-align: center;">東根市週休2日確保工事実施要領</p> <p>(趣旨)</p> <p>第1条 この要領は、建設業における働き方改革に資する取組として、東根市（以下「発注者」という。）が発注する建設工事（営繕工事を除く。以下「工事」という。）の工事現場において、週休2日確保工事を実施するに当たり、必要な事項を定めるものとする。</p> <p>(定義)</p> <p>第2条 この要領において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。</p> <p>(1) 週休2日確保工事 本要領に基づき週休2日の確保に取り組む工事をいう。</p> <p>(2) 発注者指定型 現場閉所により週休2日の確保に取り組むことを発注者が指定する形式をいう。</p> <p>(3) 受注者希望型 現場閉所により週休2日の確保に取り組むことを受注者が希望する形式をいう。</p> <p>(4) 受注者希望型（交替制） 交替制により週休2日の確保に取り組むことを受注者が希望する形式をいう。</p> <p>(5) 週休2日 対象期間において、4週8休以上の現場閉所又は交替制を行ったと認められる状態をいう。</p> <p>(6) 完全週休2日 現場閉所による週休2日において、毎週土曜日及び</p>	<p style="text-align: center;">東根市週休2日確保工事実施要領</p> <p>(趣旨)</p> <p>第1条 この要領は、建設業における働き方改革に資する取組として、東根市（以下「発注者」という。）が発注する建設工事（営繕工事を除く。以下「工事」という。）の工事現場において、週休2日確保工事を実施するに当たり、必要な事項を定めるものとする。</p> <p>(定義)</p> <p>第2条 この要領において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。</p> <p>(1) 週休2日確保工事 本要領に基づき週休2日の確保に取り組む工事をいう。</p> <p>(2) 発注者指定型 現場閉所により週休2日の確保に取り組むことを発注者が指定する形式をいう。</p> <p>(3) 受注者希望型 現場閉所により週休2日の確保に取り組むことを受注者が希望する形式をいう。</p> <p>(4) 受注者希望型（交替制） 交替制により週休2日の確保に取り組むことを受注者が希望する形式をいう。</p> <p>(5) 週休2日 対象期間において、4週8休以上の現場閉所又は交替制を行ったと認められる状態をいう。</p> <p>(6) 完全週休2日 現場閉所による週休2日において、毎週土曜日及び</p>

改正後	改正前
<p>日曜日並びに国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「祝日」という。）に現場閉所を行ったと認められる状態をいう。</p> <p>(7) 対象期間 工事の準備期間及び後片付け期間を除く施工開始日から施工終了日までの期間をいう。ただし、年末年始休暇6日間、夏季休暇3日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間、発注者があらかじめ対象外としている内容に該当する期間、受注者の責めによらず現場作業を余儀なくされる期間等を含まない。</p> <p>(8) 4週8休以上 現場閉所率又は休日率の割合が、28.5%（8日/28日）以上の状態をいう。</p> <p>(9) 現場閉所 巡回パトロール、保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場事務所での事務作業を含めて1日を通して現場及び現場事務所が閉所された状態をいう。</p> <p>(10) 現場閉所率 対象期間内の現場閉所日数の割合をいう。なお、降雨、降雪等による予定外の現場閉所についても、現場閉所に含めるものとする。</p> <p>(11) 交替制 現場に従事する技術者及び技能労働者が交替で休日を確保することをいう。</p> <p>(12) 休日率 対象期間内に現場に従事した技術者及び技能労働者の平均休日数の割合をいう。</p> <p>（対象工事及び発注方式）</p> <p>第3条 この要領において週休2日確保工事の対象となるものは、東根市が発注する全ての工事とする。ただし、次に掲げる工事は、対象としない。</p>	<p>日曜日並びに国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「祝日」という。）に現場閉所を行ったと認められる状態をいう。</p> <p>(7) 対象期間 工事の準備期間及び後片付け期間を除く施工開始日から施工終了日までの期間をいう。ただし、年末年始休暇6日間、夏季休暇3日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間、発注者があらかじめ対象外としている内容に該当する期間、受注者の責めによらず現場作業を余儀なくされる期間等を含まない。</p> <p>(8) 4週8休以上 現場閉所率又は休日率の割合が、28.5%（8日/28日）以上の状態をいう。</p> <p>(9) 現場閉所 巡回パトロール、保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場事務所での事務作業を含めて1日を通して現場及び現場事務所が閉所された状態をいう。</p> <p>(10) 現場閉所率 対象期間内の現場閉所日数の割合をいう。なお、降雨、降雪等による予定外の現場閉所についても、現場閉所に含めるものとする。</p> <p>(11) 交替制 現場に従事する技術者及び技能労働者が交替で休日を確保することをいう。</p> <p>(12) 休日率 対象期間内に現場に従事した技術者及び技能労働者の平均休日数の割合をいう。</p> <p>（対象工事及び発注方式）</p> <p>第3条 この要領において週休2日確保工事の対象となるものは、東根市が発注する全ての工事とする。ただし、次に掲げる工事は、対象としない。</p>

改正後	改正前
<p>(1) 緊急を要する工事 (2) 工期が60日未満又は対象期間が30日未満の工事</p> <p>2 連続施工せざるを得ない工事は受注者希望型（交替制）で発注するものとする。</p> <p>3 前項に該当しない工事は発注者指定型で発注することを原則とする。ただし、現場条件等によりこれにより難い場合は、受注者希望型とすることができる。</p> <p>（発注者指定型による週休2日確保工事の取扱い等）</p> <p>第4条 発注者は、当初（発注）時において、4週8休以上の経費の補正を行い、工事費を積算するものとする。</p> <p>2 発注者は、入札説明書及び特記仕様書に当該工事が発注者指定型による週休2日確保工事である旨及びその発注形式を記載するものとする。</p> <p>3 受注者は、工事打合簿において施工開始日を発注者に報告するものとする。また、週休2日又は完全週休2日を確保する工程表等現場閉所予定を確認できる資料を作成し、発注者と協議するものとする。なお、完全週休2日において、あらかじめやむを得ないと認められる場合は、土曜日、日曜日及び祝日以外の日を現場閉所日に設定できるものとする。</p> <p>4 受注者は、工事名標示板に週休2日確保工事に取り組んでいる旨を明示することとする。</p> <p>5 受注者は、週休2日又は完全週休2日の達成を理由に工期の延長変更を請求することができない。ただし、工期の延長変更の理由が受注者の責めによらない場合は、東根市建設工事請負契約約款（平成24年告示第21号の3）第22条の規定により、工期の延長変更を請求することができるものと</p>	<p>(1) 緊急を要する工事 (2) 工期が60日未満又は対象期間が30日未満の工事</p> <p>2 連続施工せざるを得ない工事は受注者希望型（交替制）で発注するものとする。</p> <p>3 前項に該当しない工事は発注者指定型で発注することを原則とする。ただし、現場条件等によりこれにより難い場合は、受注者希望型とすることができる。</p> <p>（発注者指定型による週休2日確保工事の取扱い等）</p> <p>第4条 発注者は、当初（発注）時において、4週8休以上の経費の補正を行い、工事費を積算するものとする。</p> <p>2 発注者は、入札説明書及び特記仕様書に当該工事が発注者指定型による週休2日確保工事である旨及びその発注形式を記載するものとする。</p> <p>3 受注者は、工事打合簿において施工開始日を発注者に報告するものとする。また、週休2日又は完全週休2日を確保する工程表等現場閉所予定を確認できる資料を作成し、発注者と協議するものとする。なお、完全週休2日において、あらかじめやむを得ないと認められる場合は、土曜日、日曜日及び祝日以外の日を現場閉所日に設定できるものとする。</p> <p>4 受注者は、工事名標示板に週休2日確保工事に取り組んでいる旨を明示することとする。</p> <p>5 受注者は、週休2日又は完全週休2日の達成を理由に工期の延長変更を請求することができない。ただし、工期の延長変更の理由が受注者の責めによらない場合は、東根市建設工事請負契約約款（平成24年告示第21号の3）第22条の規定により、工期の延長変更を請求することができるものと</p>

改正後	改正前
<p>する。</p> <p>6 受注者は、やむを得ない理由で当初予定していた現場閉所日に作業を行う場合は、振替現場閉所日を設定し、事前に発注者に届出するものとする。なお、完全週休2日においては土曜日、日曜日及び祝日以外の日を振替現場閉所日に設定できるものとする。</p> <p>7 受注者は、やむを得ない理由で当初予定していた作業日を現場閉所とした場合は、当該作業予定日を現場閉所日に振り替えることができるものとし、後日速やかに発注者に届出するものとする。なお、完全週休2日においても当該作業予定日を現場閉所日に振り替えることができるものとする。</p> <p>8 受注者は、当初予定していた現場閉所日に発注者が緊急の作業を要請した場合や現場見学会等の対応を行った場合は、現場閉所日として取り扱うことができる。なお、これ以外の理由によるものは発注者と協議するものとする。</p> <p>9 受注者は、週休2日確保工事が完成したときは、施工開始日、施工終了日、対象期間、現場閉所日及び現場閉所率を記載した工事打合簿により実施状況を協議するものとする。この場合において、協議に当たっては、次に掲げる書類を提出しなければならない。</p> <p>(1) 振替休日が反映された工程表等現場閉所状況を確認できる資料</p> <p>(2) 現場に従事した技術者及び技能労働者の勤務の状況がわかる出勤簿等(休日等の作業連絡記録、安全教育・訓練等の記録資料などを含む。)の書類</p> <p>10 発注者は、変更(精算時)の積算において、現場閉所が4週8休に満た</p>	<p>する。</p> <p>6 受注者は、やむを得ない理由で当初予定していた現場閉所日に作業を行う場合は、振替現場閉所日を設定し、事前に発注者に届出するものとする。なお、完全週休2日においては土曜日、日曜日及び祝日以外の日を振替現場閉所日に設定できるものとする。</p> <p>7 受注者は、やむを得ない理由で当初予定していた作業日を現場閉所とした場合は、当該作業予定日を現場閉所日に振り替えることができるものとし、後日速やかに発注者に届出するものとする。なお、完全週休2日においても当該作業予定日を現場閉所日に振り替えることができるものとする。</p> <p>8 受注者は、当初予定していた現場閉所日に発注者が緊急の作業を要請した場合や現場見学会等の対応を行った場合は、現場閉所日として取り扱うことができる。なお、これ以外の理由によるものは発注者と協議するものとする。</p> <p>9 受注者は、週休2日確保工事が完成したときは、施工開始日、施工終了日、対象期間、現場閉所日及び現場閉所率を記載した工事打合簿により実施状況を協議するものとする。この場合において、協議に当たっては、次に掲げる書類を提出しなければならない。</p> <p>(1) 振替休日が反映された工程表等現場閉所状況を確認できる資料</p> <p>(2) 現場に従事した技術者及び技能労働者の勤務の状況がわかる出勤簿等(休日等の作業連絡記録、安全教育・訓練等の記録資料などを含む。)の書類</p> <p>10 発注者は、変更(精算時)の積算において、現場閉所が4週8休に満た</p>

改正後	改正前
<p>ない場合、4週8休以上の経費の補正を除して、工事費を積算するものとする。</p> <p>11 発注者は、現場閉所状況に応じて、工事成績評定において評価するものとする。</p> <p>(受注者希望型による週休2日確保工事の取扱い等)</p> <p>第4条の2 発注者は、入札説明書及び特記仕様書に当該工事が受注者希望型による週休2日確保工事である旨を記載するものとする。</p> <p>2 受注者は契約締結後、施工計画書提出前に週休2日確保工事を実施するか否かについて協議を行うものとする。この場合において、協議の結果、週休2日確保工事を実施しないこととしても、受注者はその責を負わないものとする。</p> <p>3 受注者は、週休2日確保工事を実施する場合、工事打合簿において施工開始日を発注者に報告するものとする。また、週休2日又は完全週休2日を確保する工程表等現場閉所予定を確認できる資料を作成し、発注者と協議するものとする。なお、完全週休2日において、あらかじめやむを得ないと認められる場合は、土曜日、日曜日及び祝日以外の日を現場閉所日に設定できるものとする。</p> <p>4 受注者は、工事名標示板に週休2日確保工事に取り組んでいる旨を明示することとする。</p> <p>5 受注者は、週休2日又は完全週休2日の達成を理由に工期の延長変更を請求することができない。ただし、工期の延長変更の理由が受注者の責めによらない場合は、東根市建設工事請負契約約款（平成24年告示第21号の3）第22条の規定により、工期の延長変更を請求することができるものと</p>	<p>ない場合、4週8休以上の経費の補正を除して、工事費を積算するものとする。</p> <p>11 発注者は、現場閉所状況に応じて、工事成績評定において評価するものとする。</p> <p>(受注者希望型による週休2日確保工事の取扱い等)</p> <p>第4条の2 発注者は、入札説明書及び特記仕様書に当該工事が受注者希望型による週休2日確保工事である旨を記載するものとする。</p> <p>2 受注者は契約締結後、施工計画書提出前に週休2日確保工事を実施するか否かについて協議を行うものとする。この場合において、協議の結果、週休2日確保工事を実施しないこととしても、受注者はその責を負わないものとする。</p> <p>3 受注者は、週休2日確保工事を実施する場合、工事打合簿において施工開始日を発注者に報告するものとする。また、週休2日又は完全週休2日を確保する工程表等現場閉所予定を確認できる資料を作成し、発注者と協議するものとする。なお、完全週休2日において、あらかじめやむを得ないと認められる場合は、土曜日、日曜日及び祝日以外の日を現場閉所日に設定できるものとする。</p> <p>4 受注者は、工事名標示板に週休2日確保工事に取り組んでいる旨を明示することとする。</p> <p>5 受注者は、週休2日又は完全週休2日の達成を理由に工期の延長変更を請求することができない。ただし、工期の延長変更の理由が受注者の責めによらない場合は、東根市建設工事請負契約約款（平成24年告示第21号の3）第22条の規定により、工期の延長変更を請求することができるものと</p>

改正後	改正前
<p>する。</p> <p>6 受注者は、やむを得ない理由で当初予定していた現場閉所日に作業を行う場合は、振替現場閉所日を設定し、事前に発注者に届出するものとする。なお、完全週休2日においては土曜日、日曜日及び祝日に限定せず、振替現場閉所日を設定できるものとする。</p> <p>7 受注者は、やむを得ない理由で当初予定していた作業日を現場閉所とした場合は、当該作業予定日を現場閉所日に振り替えることができるものとし、後日速やかに発注者に届出するものとする。なお、完全週休2日においても当該作業予定日を現場閉所日に振り替えることができるものとする。</p> <p>8 受注者は、当初予定していた現場閉所日に発注者が緊急の作業を要請した場合や現場見学会等の対応を行った場合は、現場閉所日として取り扱うことができる。なお、これ以外の理由によるものは発注者と協議するものとする。</p> <p>9 受注者は、週休2日確保工事が完成したときは、施工開始日、施工終了日、対象期間、現場閉所日及び現場閉所率を記載した工事打合簿により実施状況を協議するものとする。この場合において、協議に当たっては、次に掲げる書類を提出しなければならない。</p> <p>(1) 振替休日が反映された工程表等現場閉所状況を確認できる資料</p> <p>(2) 現場に従事した技術者及び技能労働者の勤務の状況がわかる出勤簿等（休日等の作業連絡記録、安全教育・訓練等の記録資料などを含む。）の書類</p> <p>10 発注者は、変更（精算時）の積算において、4週8休以上の現場閉所を</p>	<p>する。</p> <p>6 受注者は、やむを得ない理由で当初予定していた現場閉所日に作業を行う場合は、振替現場閉所日を設定し、事前に発注者に届出するものとする。なお、完全週休2日においては土曜日、日曜日及び祝日に限定せず、振替現場閉所日を設定できるものとする。</p> <p>7 受注者は、やむを得ない理由で当初予定していた作業日を現場閉所とした場合は、当該作業予定日を現場閉所日に振り替えることができるものとし、後日速やかに発注者に届出するものとする。なお、完全週休2日においても当該作業予定日を現場閉所日に振り替えることができるものとする。</p> <p>8 受注者は、当初予定していた現場閉所日に発注者が緊急の作業を要請した場合や現場見学会等の対応を行った場合は、現場閉所日として取り扱うことができる。なお、これ以外の理由によるものは発注者と協議するものとする。</p> <p>9 受注者は、週休2日確保工事が完成したときは、施工開始日、施工終了日、対象期間、現場閉所日及び現場閉所率を記載した工事打合簿により実施状況を協議するものとする。この場合において、協議に当たっては、次に掲げる書類を提出しなければならない。</p> <p>(1) 振替休日が反映された工程表等現場閉所状況を確認できる資料</p> <p>(2) 現場に従事した技術者及び技能労働者の勤務の状況がわかる出勤簿等（休日等の作業連絡記録、安全教育・訓練等の記録資料などを含む。）の書類</p> <p>10 発注者は、変更（精算時）の積算において、4週8休以上の現場閉所を</p>

改正後	改正前
<p>達成した場合、4週8休以上の経費の補正を行い、工事費を積算するものとする。</p> <p>11 発注者は、現場閉所状況に応じて、工事成績評定において評価するものとする。</p> <p>(受注者希望型(交替制)による週休2日確保工事の取扱い等)</p> <p>第4条の3 発注者は、入札説明書及び特記仕様書に当該工事が受注者希望型(交替制)による週休2日確保工事である旨を記載するものとする。</p> <p>2 受注者は契約締結後、施工計画書提出前に週休2日確保工事を実施するか否かについて協議を行うものとする。この場合において、協議の結果、週休2日確保工事を実施しないこととしても、受注者はその責を負わないものとする。</p> <p>3 施工体制台帳に記載されている元請及び下請の技術者及び技能労働者を受注者希望型(交替制)の対象者とする。ただし、次の各号に該当する者は除くものとする。</p> <p>(1) 非常勤の者(臨時で従事する者)</p> <p>(2) 現場作業日数が5日未満の者</p> <p>4 受注者は、週休2日確保工事を実施する場合、工事打合簿において施工開始日を発注者に報告するものとする。また、対象者の氏名、対象期間の日数及び休日(予定)を確認できる資料を作成し、発注者と協議するものとする。</p> <p>5 受注者は、工事名標示板に週休2日確保工事に取り組んでいる旨を明示することとする。</p>	<p>達成した場合、4週8休以上の経費の補正を行い、工事費を積算するものとする。</p> <p>11 発注者は、現場閉所状況に応じて、工事成績評定において評価するものとする。</p> <p>(受注者希望型(交替制)による週休2日確保工事の取扱い等)</p> <p>第4条の3 発注者は、入札説明書及び特記仕様書に当該工事が受注者希望型(交替制)による週休2日確保工事である旨を記載するものとする。</p> <p>2 受注者は契約締結後、施工計画書提出前に週休2日確保工事を実施するか否かについて協議を行うものとする。この場合において、協議の結果、週休2日確保工事を実施しないこととしても、受注者はその責を負わないものとする。</p> <p>3 施工体制台帳に記載されている元請及び下請の技術者及び技能労働者を受注者希望型(交替制)の対象者とする。ただし、次の各号に該当する者は除くものとする。</p> <p>(1) 非常勤の者(臨時で従事する者)</p> <p>(2) 現場作業日数が5日未満の者</p> <p>4 受注者は、週休2日確保工事を実施する場合、工事打合簿において施工開始日を発注者に報告するものとする。また、対象者の氏名、対象期間の日数及び休日(予定)を確認できる資料を作成し、発注者と協議するものとする。</p> <p>5 受注者は、工事名標示板に週休2日確保工事に取り組んでいる旨を明示することとする。</p>

改正後	改正前
<p>6 受注者は、週休2日又は完全週休2日の達成を理由に工期の延長変更を請求することができない。ただし、工期の延長変更の理由が受注者の責めによらない場合は、東根市建設工事請負契約約款（平成24年告示第21号の3）第22条の規定により、工期の延長変更を請求することができるものとする。</p>	<p>6 受注者は、週休2日又は完全週休2日の達成を理由に工期の延長変更を請求することができない。ただし、工期の延長変更の理由が受注者の責めによらない場合は、東根市建設工事請負契約約款（平成24年告示第21号の3）第22条の規定により、工期の延長変更を請求することができるものとする。</p>
<p>7 受注者は、やむを得ない理由で当初予定していた休日に作業を行う場合は、振替休日を設定するものとする。</p>	<p>7 受注者は、やむを得ない理由で当初予定していた休日に作業を行う場合は、振替休日を設定するものとする。</p>
<p>8 受注者は、やむを得ない理由で当初予定していた作業日を休日とした場合は、当該作業予定日を休日に振り替えることができるものとする。</p>	<p>8 受注者は、やむを得ない理由で当初予定していた作業日を休日とした場合は、当該作業予定日を休日に振り替えることができるものとする。</p>
<p>9 受注者は、当初予定していた休日に発注者が緊急の作業を要請した場合や現場見学会等の対応を行った場合は、休日として取り扱うことができる。なお、これ以外の理由によるものは発注者と協議するものとする。</p>	<p>9 受注者は、当初予定していた休日に発注者が緊急の作業を要請した場合や現場見学会等の対応を行った場合は、休日として取り扱うことができる。なお、これ以外の理由によるものは発注者と協議するものとする。</p>
<p>10 受注者は、週休2日確保工事が完成したときは、施工開始日、施工終了日、対象期間、休日率を記載した工事打合簿により実施状況を協議するものとする。この場合において、協議に当たっては、現場に従事した技術者及び技能労働者の勤務の休日状況がわかる出勤簿等（休日等の作業連絡記録、安全教育・訓練等の記録資料などを含む。）の書類を提出しなければならない。</p>	<p>10 受注者は、週休2日確保工事が完成したときは、施工開始日、施工終了日、対象期間、休日率を記載した工事打合簿により実施状況を協議するものとする。この場合において、協議に当たっては、現場に従事した技術者及び技能労働者の勤務の休日状況がわかる出勤簿等（休日等の作業連絡記録、安全教育・訓練等の記録資料などを含む。）の書類を提出しなければならない。</p>
<p>11 発注者は、変更（精算時）の積算において、4週8休以上の交替制を達成した場合、4週8休以上の経費の補正を行い、工事費を積算するものとする。</p>	<p>11 発注者は、変更（精算時）の積算において、4週8休以上の交替制を達成した場合、4週8休以上の経費の補正を行い、工事費を積算するものとする。</p>
<p>12 発注者は、現場に従事した技術者及び技能労働者の休日確保状況に応じて、工事成績評価において評価するものとする。</p>	<p>12 発注者は、現場に従事した技術者及び技能労働者の休日確保状況に応じて、工事成績評価において評価するものとする。</p>

改正後	改正前
<p>(週休2日確保工事における取扱い)</p> <p>第5条 週休2日確保工事における工事費の積算は、別紙1に基づくものとする。</p> <p>2 週休2日確保工事における工事成績評価は、別紙2に基づくものとする。</p> <p>3 週休2日確保工事における工期の考え方は、別紙3に基づくものとする。</p> <p>(アンケートの実施)</p> <p>第6条 週休2日確保工事の実施の有無にかかわらず、受注者は、発注者がアンケートを行う場合には、協力するものとする。</p> <p>附 則</p> <p>1 この告示は、令和6年7月1日から施行する</p> <p>2 この告示において準用する山形県県土整備部週休2日確保工事実施要領及び山形県農林水産部週休2日確保工事実施要領（以下これらを「県実施要領」という。）に定める補正方法の改正が行われた場合の補正方法の適用については、当該改正があった県実施要領の施行の日以後に発注手続を行う工事から適用する。</p> <p>附 則（令和6年11月1日告示第112号）</p> <p>この告示は、公示の日から施行し、この告示による改正後の東根市週休2日確保工事実施要領の規定は、同日以後に発注手続を行う工事から適用する。</p>	<p>(週休2日確保工事における取扱い)</p> <p>第5条 週休2日確保工事における工事費の積算は、別紙1に基づくものとする。</p> <p>2 週休2日確保工事における工事成績評価は、別紙2に基づくものとする。</p> <p>3 週休2日確保工事における工期の考え方は、別紙3に基づくものとする。</p> <p>(アンケートの実施)</p> <p>第6条 週休2日確保工事の実施の有無にかかわらず、受注者は、発注者がアンケートを行う場合には、協力するものとする。</p> <p>附 則</p> <p>この告示は、令和6年7月1日から施行する。</p>

改正後	改正前													
<p style="text-align: right;">別紙 1</p> <p style="text-align: center;">週休 2 日確保工事における工事費の積算について</p> <p>〔発注者指定型・受注者希望型〕</p> <p>1 積算方法等</p> <p>対象期間内の現場の閉所状況に応じて、各経費を補正するものとする。</p> <p>(1) 現場の閉所状況</p> <p>現場の閉所状況は、次のとおりとする。</p> <p>4 週 8 休以上</p> <p>現場閉所率が 28.5% (8 日 / 28 日) 以上の場合</p> $\text{現場閉所率} = \frac{\text{対象期間内の現場閉所日数}}{\text{対象期間の日数}} (\%)$ <p>(2) 補正方法</p> <p style="color: red;">山形県県土整備部週休 2 日確保工事实施要領 (令和 5 年 7 月 1 日施行) 及び山形県農林水産部週休 2 日確保工事实施要領 (令和 5 年 7 月 1 日施行) に定める補正方法を準用する。</p> <p>2 当初(発注)時の積算</p> <p>(1) 発注者指定型</p> <p>4 週 8 休以上の経費の補正を行い、工事費を積算する。</p> <p>(2) 受注者希望型</p> <p>経費の補正は行わず、工事費を積算する。</p> <p>3 変更(精算)時の積算</p>	<p style="text-align: right;">別紙 1</p> <p style="text-align: center;">週休 2 日確保工事における工事費の積算について</p> <p>〔発注者指定型・受注者希望型〕</p> <p>1 積算方法等</p> <p>対象期間内の現場の閉所状況に応じて、各経費を補正するものとする。</p> <p>(1) 現場の閉所状況</p> <p>現場の閉所状況は、次のとおりとする。</p> <p>4 週 8 休以上</p> <p>現場閉所率が 28.5% (8 日 / 28 日) 以上の場合</p> $\text{現場閉所率} = \frac{\text{対象期間内の現場閉所日数}}{\text{対象期間の日数}} (\%)$ <p>(2) 補正方法</p> <p style="color: red;">積算方法毎に対象期間中の現場閉所状況に応じて次のとおり補正を行う。</p> <p style="color: red;">① 積上げ積算方式及び施工パッケージ型積算方式</p> <p style="color: red;">各経費に下表の補正係数を乗じるものとする。</p> <table border="1" data-bbox="1249 1074 1980 1321"> <thead> <tr> <th colspan="2" data-bbox="1249 1074 1711 1121">経費名</th> <th data-bbox="1711 1074 1980 1121">補正係数</th> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="1249 1121 1711 1169"></td> <th data-bbox="1711 1121 1980 1169">4 週 8 休以上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1249 1169 1339 1321" rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">建設土木</td> <td data-bbox="1339 1169 1711 1217">労務費</td> <td data-bbox="1711 1169 1980 1217" style="text-align: center;">1.05</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1339 1217 1711 1265">機械経費(賃料)</td> <td data-bbox="1711 1217 1980 1265" style="text-align: center;">1.04</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1339 1265 1711 1321">共通仮設費率</td> <td data-bbox="1711 1265 1980 1321" style="text-align: center;">1.04</td> </tr> </tbody> </table>	経費名		補正係数			4 週 8 休以上	建設土木	労務費	1.05	機械経費(賃料)	1.04	共通仮設費率	1.04
経費名		補正係数												
		4 週 8 休以上												
建設土木	労務費	1.05												
	機械経費(賃料)	1.04												
	共通仮設費率	1.04												

改正後	改正前																																	
<p>変更（精算）時に工事費を積算することを基本とするが、閉所状況を確認でき次第、積算できるものとする。</p> <p>(1) 発注者指定型 現場閉所が4週8休に満たない場合、4週8休以上の経費の補正を除して、工事費を積算する。</p> <p>(2) 受注者希望型 4週8休以上の現場閉所を達成した場合、4週8休以上の経費の補正を行い、工事費を積算する。</p> <p>〔受注者希望型（交替制）〕</p> <p>1 積算方法等</p> <p>対象期間内に現場に従事した技術者及び技能労働者の休日の確保状況に応じて、各経費を補正するものとする。</p> <p>(1) 技術者及び技能労働者の休日の確保状況 技術者及び技能労働者の休日の確保状況は、次のとおりとする。 4週8休以上 休日率が28.5%（8日／28日）以上の場合</p> <p>(2) 休日率の計算</p> <p>① 対象者毎の休日率の計算 対象者毎に休日率を計算する。 なお、下請負人の場合は、下請負契約上の契約工期内とする。</p> <p style="text-align: center;">対象者の休日率 = $\frac{\text{対象期間内の休日日数}}{\text{対象期間の日数}}$ (%)</p>	農業 土木	現場管理費率	1.06																															
	農業 土木	労務費	1.05																															
	農業 土木	機械経費(賃料)	1.04																															
	農業 土木	共通仮設費率	1.04																															
	農業 土木	現場管理費率	1.09																															
	森林 土木	労務費	1.05																															
	森林 土木	機械経費(賃料)	1.04																															
	森林 土木	共通仮設費率	1.04																															
	森林 土木	現場管理費率	1.06																															
	<p>② 市場単価方式 各工種に下表の補正係数を乗じるものとする。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="text-align: center;">名称</th> <th rowspan="2" style="text-align: center;">区分</th> <th style="text-align: center;">補正係数</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center;">4週8休以上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">鉄筋工</td> <td></td> <td style="text-align: center;">1.05</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">ガス圧接工</td> <td></td> <td style="text-align: center;">1.04</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">インターロッキング工</td> <td style="text-align: center;">設置</td> <td style="text-align: center;">1.02</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">撤去</td> <td style="text-align: center;">1.05</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">防護柵設置工 (ガードレール)</td> <td style="text-align: center;">設置</td> <td style="text-align: center;">1.01</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">撤去</td> <td style="text-align: center;">1.05</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">防護柵設置工 (ガードパイプ)</td> <td style="text-align: center;">設置</td> <td style="text-align: center;">1.01</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">撤去</td> <td style="text-align: center;">1.05</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">防護柵設置工</td> <td style="text-align: center;">設置</td> <td style="text-align: center;">1.04</td> </tr> </tbody> </table>			名称	区分	補正係数	4週8休以上	鉄筋工		1.05	ガス圧接工		1.04	インターロッキング工	設置	1.02		撤去	1.05	防護柵設置工 (ガードレール)	設置	1.01		撤去	1.05	防護柵設置工 (ガードパイプ)	設置	1.01		撤去	1.05	防護柵設置工	設置	1.04
名称	区分	補正係数																																
		4週8休以上																																
鉄筋工		1.05																																
ガス圧接工		1.04																																
インターロッキング工	設置	1.02																																
	撤去	1.05																																
防護柵設置工 (ガードレール)	設置	1.01																																
	撤去	1.05																																
防護柵設置工 (ガードパイプ)	設置	1.01																																
	撤去	1.05																																
防護柵設置工	設置	1.04																																

改正後	改正前			
<p>② 工事全体での休日率の計算 ①により求めた対象者毎の休日率を平均し、工事全体の休日率を計算する。</p> <p>③ 中抜け期間の除外 以下の期間は、中抜け期間として対象期間の日数から除外する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他工事に従事している期間 ・断続的な作業期間の間の期間 ・長期休業等により出勤できない期間 <p>(3) 補正方法 山形県県土整備部週休2日確保工事实施要領（令和5年7月1日施行）及び山形県農林水産部週休2日確保工事实施要領（令和5年7月1日施行）に定める補正方法を準用する。</p> <p>2 当初（発注）時の積算 経費の補正は行わず、工事費を積算する。</p> <p>3 変更（精算）時の積算 変更（精算）時に工事費を積算することを基本とするが、休日の確保状況を確認でき次第、積算できるものとする。 4週8休以上の休日を達成した場合、4週8休以上の経費の補正を行い、工事費を積算する。</p> <p>以下略</p>	(横断・転落防止柵)	撤去	1.05	
	防護柵設置工(落石防護柵)		1.02	
	防護柵設置工(落石防止網)		1.03	
	道路標識設置工	設置	1.01	
		撤去・移設	1.04	
	道路付属物設置工	設置	1.02	
		撤去	1.05	
	法面工		1.02	
	吹付法砕工		1.03	
	鉄筋挿入工(ロックボルト工)		1.03	
	道路植栽工	植栽	1.05	
		剪定	1.05	
	公園植栽工		1.05	
	橋梁用伸縮継手装置設置工		1.02	
	橋梁用埋設型伸縮継手装置設置工		1.04	
橋面防水工		1.02		

改正後	改正前		
	薄層カラー舗装工		1.01
	グルーピング工		1.01
	軟弱地盤処理工		1.02
	コンクリート表面処理工 (ウォータージェット工)		1.01
	<p>③ 土木工事標準単価方式</p> <p>「土木工事設計単価」に掲載する4週8休以上の補正単価を基に積算するものとする。</p> <p>2 当初(発注)時の積算</p> <p>(1) 発注者指定型</p> <p>4週8休以上の経費の補正を行い、工事費を積算する。</p> <p>(2) 受注者希望型</p> <p>経費の補正は行わず、工事費を積算する。</p> <p>3 変更(精算)時の積算</p> <p>変更(精算)時に工事費を積算することを基本とするが、閉所状況を確認でき次第、積算できるものとする。</p> <p>(1) 発注者指定型</p> <p>現場閉所が4週8休に満たない場合、4週8休以上の経費の補正を除いて、工事費を積算する。</p> <p>(2) 受注者希望型</p>		

改正後	改正前
	<p>4週8休以上の現場閉所を達成した場合、4週8休以上の経費の補正を行い、工事費を積算する。</p> <p>〔受注者希望型（交替制）〕</p> <p>1 積算方法等</p> <p>対象期間内に現場に従事した技術者及び技能労働者の休日の確保状況に応じて、各経費を補正するものとする。</p> <p>(1) 技術者及び技能労働者の休日の確保状況</p> <p>技術者及び技能労働者の休日の確保状況は、次のとおりとする。</p> <p>4週8休以上</p> <p>休日率が28.5%（8日／28日）以上の場合</p> <p>(2) 休日率の計算</p> <p>① 対象者毎の休日率の計算</p> <p>対象者毎に休日率を計算する。</p> <p>なお、下請負人の場合は、下請負契約上の契約工期内とする。</p> $\text{対象者の休日率} = \frac{\text{対象期間内の休日日数}}{\text{対象期間の日数}} (\%)$ <p>② 工事全体での休日率の計算</p> <p>①により求めた対象者毎の休日率を平均し、工事全体の休日率を計算する。</p> <p>③ 中抜け期間の除外</p> <p>以下の期間は、中抜け期間として対象期間の日数から除外する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他工事に従事している期間

改正後	改正前								
	<p>・断続的な作業期間の間の期間 ・長期休業等により出勤できない期間</p> <p>(3) 補正方法</p> <p>対象期間内に従事した技術者及び技能労働者の休日の確保状況に応じて次のとおり補正を行う。</p> <p>① 積上げ積算方式及び施工パッケージ型積算方式 各経費に下表の補正係数を乗じるものとする。</p> <table border="1" data-bbox="1263 580 1962 820"> <thead> <tr> <th data-bbox="1263 580 1565 639">経費名</th> <th data-bbox="1565 580 1962 639">補正係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1263 639 1565 699"></td> <td data-bbox="1565 639 1962 699">4週8休以上</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1263 699 1565 758">労務費</td> <td data-bbox="1565 699 1962 758">1.05</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1263 758 1565 820">現場管理費率</td> <td data-bbox="1565 758 1962 820">1.03</td> </tr> </tbody> </table> <p>② 土木工事標準単価方式 「土木工事設計単価」に掲載する4週8休以上の補正単価を基に積算するものとする。</p> <p>2 当初（発注）時の積算 経費の補正は行わず、工事費を積算する。</p> <p>3 変更（精算）時の積算 変更（精算）時に工事費を積算することを基本とするが、休日の確保状況を確認でき次第、積算できるものとする。 4週8休以上の休日を達成した場合、4週8休以上の経費の補正を行い、</p>	経費名	補正係数		4週8休以上	労務費	1.05	現場管理費率	1.03
経費名	補正係数								
	4週8休以上								
労務費	1.05								
現場管理費率	1.03								

改正後	改正前
	工事費を積算する。 以下略